

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	二級河川 今堀川水系今堀川				
事業箇所	田原市				
事業のあらまし	<p>今堀川は、渥美半島中央部に位置し、田原市八王子町に源を發し、旧赤羽根町、旧田原町の町境を北流し南流し渥美湾流れる、法河川延長約 2.1 km、流域面積は 5.25 km<sup>2</sup>の二級河川である。</p> <p>当該流域では、平成 10 年度の台風などによる浸水被害を受けており、河川の整備が急務となっている。</p> <p>今堀川は昭和 58 年に二級河川今堀川水系全体計画書を作成し年超過確率 1/10 (1 時間雨量 56 mm) の規模の洪水に対し安全に流下させることを目標に、河道の拡幅や掘削等を計画している。</p> <p>本事業は 1k097~2k000 付近の区間について流下能力不足を解消し、上流部 2k000 付近の住宅地への浸水被害を軽減する河川改修を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>・年超過確率 1/10 (1 時間雨量 56 mm) の規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、平成 35 年までに完了させる。</p>				
計画変更の推移		事業採択時(H18)	再評価時(H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H18~H35(予定)	H18~H35(予定)	変更なし	
	事業費(億円)	6.55	6.55	変更なし	
	経費内訳	工事費	6.37	6.37	変更なし
		用補費	0.00	0.00	変更なし
	その他	0.18	0.18	変更なし	
	事業内容	河道拡幅 河床掘削 橋梁改築 事業延長 L=903m	河道拡幅 河床掘削 橋梁改築 事業延長 L=903m	変更なし	
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>・平成 10 年度の台風などで浸水被害が発生しており、下流から改修事業を進めているが、1k097~2k000 付近の区間について流下能力が不足している。上流部 2k000 付近の住宅地における浸水被害を軽減するため、下流河道の整備が急務となっている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>・事業採択時(平成 18 年)以降、浸水被害の報告は確認されていない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・平成 18 年から 27 年にかけて、田原市の人口は 10.3%増加しているが、世帯数は 1.6%減少している。また、土地利用状況は、平成 18 年から 27 年にかけて、宅地が 5.9%増加し、農地は 0.7%減少している。このことから、河川への雨水の流出量は、ほぼ同程度と推定できる。(豊橋市に対する今堀川流域の面積比率は 2.7%である。)</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	判定	<p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p><b>B</b>: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																															
		【理由】 浸水の危険性は事業採択時から大きく変化していないと考えられる。																																																																															
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H18～H23(6年)</th> <th>H24～H28(5年)</th> <th>H29～H33(5年)</th> <th>H34～H35(2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">←————→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">←————→</td> </tr> <tr> <td>・ 河道改修</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">←————→</td> </tr> <tr> <td>・ 橋梁改築</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">←————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> <td style="text-align: center;">2.56</td> <td style="text-align: center;">1.03</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">2.96</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td style="text-align: center;">1.160</td> <td style="text-align: center;">0.443</td> <td style="text-align: center;">38.2%</td> <td style="text-align: center;">1.903</td> <td style="text-align: center;">23.3%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td style="text-align: center;">4.00</td> <td style="text-align: center;">2.96</td> <td style="text-align: center;">74.0%</td> <td style="text-align: center;">6.55</td> <td style="text-align: center;">45.2%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td style="text-align: center;">3.82</td> <td style="text-align: center;">2.78</td> <td style="text-align: center;">72.8%</td> <td style="text-align: center;">6.37</td> <td style="text-align: center;">43.6%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td style="text-align: center;">0.18</td> <td style="text-align: center;">0.18</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">0.18</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 護岸工 L=443m 橋梁 N=1基</p>			H18～H23(6年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H35(2年)	工種 区分	調査・設計	←————→				工事	←————→				・ 河道改修	←————→				・ 橋梁改築	←————→				事業費 (億円)	前回計画	2.00	2.00	2.56	1.03	実績	2.96					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	1.160	0.443	38.2%	1.903	23.3%	事業費(億円)	4.00	2.96	74.0%	6.55	45.2%	工事費	3.82	2.78	72.8%	6.37	43.6%	用補費	0.00	0.00	0.0%	0.00	0.0%	その他	0.18	0.18	100.0%	0.18	100.0%
			H18～H23(6年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H35(2年)																																																																											
工種 区分	調査・設計	←————→																																																																															
	工事	←————→																																																																															
	・ 河道改修	←————→																																																																															
	・ 橋梁改築	←————→																																																																															
事業費 (億円)	前回計画	2.00	2.00	2.56	1.03																																																																												
	実績	2.96																																																																															
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																													
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																												
延長(km)	1.160	0.443	38.2%	1.903	23.3%																																																																												
事業費(億円)	4.00	2.96	74.0%	6.55	45.2%																																																																												
工事費	3.82	2.78	72.8%	6.37	43.6%																																																																												
用補費	0.00	0.00	0.0%	0.00	0.0%																																																																												
その他	0.18	0.18	100.0%	0.18	100.0%																																																																												
2) 未着手又は長期化の理由	・ 橋梁等の改築に伴う迂回路等の調整に時間を要し、工事の着手が遅れたため。																																																																																
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 今後の阻害要因は特になし。</p> <p>【今後の見込み】 特に大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成35年に完了する見込である。</p>																																																																																
判定	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p><b>B</b>: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○ これまで事業が長期化していたが、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																

	<p>【理由】</p> <p>懸案であった橋梁の改築が完了し、今後大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成35年までに完了する見込であるため。</p>
<p>Ⅲ 対応方針</p>	
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後 5 年位内に想定規模同等の降雨が発生した場合にその効果を検証すること。</li> </ul> <p>【主な評価内容】</p>	

